

## 自然と技術 (Science and Technology)

### 災害を知る (Understanding Disasters)

中野 晋・教授 / 大学院ソシオテクノサイエンス研究部

2単位 前期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『自然と技術』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

**【授業の目的】** 近年, 地震, 津波, 洪水, 高潮, 竜巻など過去に例をみないような災害が頻発している. 災害列島日本で暮らしていくために必要である災害について基礎的知識と最新情報を理解させる.

**【授業の概要】** 地震や風水害など代表的な災害のメカニズムや最近発生した災害の実態について紹介し, 自然災害とはいったいどのようなものかについて各分野の専門家が講述する.

**【キーワード】** 地震災害, 風水害, 火災, 自然災害, 防災士

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** 『自然と技術/災害に備える』(1.0)

**【到達目標】**

1. 日本で発生が予測される自然災害のメカニズムについて理解する. (1-6 回)
2. 阪神大震災など過去の災害の実態を理解し, 災害発生時の状況がイメージできる. (7-15 回)
3. 人工呼吸, 心臓マッサージ, AED の使用法などの救急救命技術を身につける. (16 回)

**【授業の計画】**

1. オリエンテーション・防災士とは/レポートまたは小テスト (中野)
2. 風水害/レポートまたは小テスト (武藤)
3. 土砂災害・火山災害/レポートまたは小テスト (西山)
4. 強風・竜巻災害/レポートまたは小テスト (長尾)
5. 切迫性の高い南海地震/レポートまたは小テスト (大角)
6. 地震災害/レポートまたは小テスト (村田)
7. 阪神・淡路大震災の体験を通して/レポートまたは小テスト (末澤)
8. 医学と災害/レポート (西村)
9. 意思決定訓練 (クロスロード)/レポートまたは小テスト (金山)
10. ライフライン被害/レポートまたは小テスト (上月)
11. 火災/レポートまたは小テスト (徳島市消防局)
12. 津波災害の歴史/レポートまたは小テスト (村上)
13. 災害医療/レポートまたは小テスト (三村)
14. 被災者の心理ケア/レポートまたは小テスト (佐藤)

15. 高潮災害/レポートまたは小テスト (中野)

16. 普通救命講習 (徳島市東消防署)

**【教科書】** 防災士教本, 平成 23 年度版, 日本防災士機構編

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 各講義ごと (救命救急講習を除く) に理解度確認のための小テストまたはレポートを課す. 到達目標の達成度は小テストまたはレポートの総点を 100 点に換算して評価し, 評点が 60% 以上を当目標のクリア条件とする. なお, 普通救命講習は評価の対象に含まれない.

**【再試験の有無】** [再評価]

**【受講者へのメッセージ】** [注意]

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220786>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 中野 (A310, 088-656-7330, nakano@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: オフィスアワー:年度ごとに学科の掲示板を参照のこと.)

**【備考】**

- ◇ 本講義「災害を知る」と後期の「災害に備える」は特定非営利活動法人・日本防災士機構の「防災士養成研修プログラム」に準拠している.
- ◇ 本講義は「徳島大学防災リーダー養成講座」の前半部分に相当する.
- ◇ 本講義「災害を知る」と後期の「災害に備える」の両科目に合格したものを, 「徳島大学防災リーダー」として認定する. またこの認定をもって, 「防災士」の受験資格が与えられる.
- ◇ 9 の訓練は土曜日午後に開講予定である.
- ◇ 普通救命講習は徳島市東消防署のご協力で土曜日または日曜日午後に実施予定である. 講習修了者には普通救命講習修了証が授与される. 日程については開講時に連絡する.

# Science and Technology

## Understanding Disasters

Susumu Nakano · PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE

2 units 前期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

**Target)** 近年, 地震, 津波, 洪水, 高潮, 竜巻など過去に例をみないような災害が頻発している. 災害列島日本で暮らしていくために必要である災害について基礎的知識と最新情報を理解させる.

**Outline)** 地震や風水害など代表的な災害のメカニズムや最近発生した災害の実態について紹介し, 自然災害とはいったいどのようなものかについて各分野の専門家が講述する.

**Keyword)** 地震災害, 風水害, 火災, 自然災害, 防災士

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** “Science and Technology/Preparing for Disasters”(1.0)

**Goal)**

1. 日本で発生が予測される自然災害のメカニズムについて理解する. (1-6 回)
2. 阪神大震災など過去の災害の実態を理解し, 災害発生時の状況がイメージできる. (7-15 回)
3. 人工呼吸, 心臓マッサージ, AED の使用法などの救急救命技術を身につける. (16 回)

**Schedule)**

1. オリエンテーション・防災士とは/レポートまたは小テスト (中野)
2. 風水害/レポートまたは小テスト (武藤)
3. 土砂災害・火山災害/レポートまたは小テスト (西山)
4. 強風・竜巻災害/レポートまたは小テスト (長尾)
5. 切迫性の高い南海地震/レポートまたは小テスト (大角)
6. 地震災害/レポートまたは小テスト (村田)
7. 阪神・淡路大震災の体験を通して/レポートまたは小テスト (末澤)
8. 医学と災害/レポート (西村)
9. 意思決定訓練 (クロスロード)/レポートまたは小テスト (金山)
10. ライフライン被害/レポートまたは小テスト (上月)
11. 火災/レポートまたは小テスト (徳島市消防局)
12. 津波災害の歴史/レポートまたは小テスト (村上)
13. 災害医療/レポートまたは小テスト (三村)
14. 被災者の心理ケア/レポートまたは小テスト (佐藤)

15. 高潮災害/レポートまたは小テスト (中野)

16. 普通救命講習 (徳島市東消防署)

**Textbook)** 防災士教本, 平成 23 年度版, 日本防災士機構編

**Reference)** [参考資料]

**Evaluation Criteria)** 各講義ごと (救命救急講習を除く) に理解度確認のための小テストまたはレポートを課す. 到達目標の達成度は小テストまたはレポートの総点を 100 点に換算して評価し, 評点が 60% 以上を当目標のクリア条件とする. なお, 普通救命講習は評価の対象に含まれない.

**Re-evaluation)** [再評価]

**Message)** [注意]

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220786>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Nakano (A310, +81-88-656-7330, [nakano@ce.tokushima-u.ac.jp](mailto:nakano@ce.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示板を参照のこと.)

**Note)**

- ◇ 本講義「災害を知る」と後期の「災害に備える」は特定非営利活動法人・日本防災士機構の「防災士養成研修プログラム」に準拠している.
- ◇ 本講義は「徳島大学防災リーダー養成講座」の前半部分に相当する.
- ◇ 本講義「災害を知る」と後期の「災害に備える」の両科目に合格したものを, 「徳島大学防災リーダー」として認定する. またこの認定をもって, 「防災士」の受験資格が与えられる.
- ◇ 9 の訓練は土曜日午後に関講予定である.
- ◇ 普通救命講習は徳島市東消防署のご協力と土曜日または日曜日午後に関講予定である. 講習修了者には普通救命講習修了証が授与される. 日程については開講時に連絡する.